

事務事業チェックシート

評価年度	H24	H25	H26	対象外
	○			

事務事業No 399 事業名 育児支援事業（育児サークル等の開催）

[事業基本情報]

分野別目標	2	個人を尊重し、人々がともに助け合う優しいまち
政策	1	地域福祉と健康づくりの推進
施策	2	健康づくりの推進
取組	3	母子保健対策の推進

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費
	その他		
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務
	その他		
会計・予算区分	会計		一般会計
	款		衛生費
	項		保健衛生費
	目		母子衛生費
	大事業		母子衛生事業
	事項		育児支援事業

事業種別	継続	主な事務事業
事業期間	永年	～
関連個別計画	地域保健医療計画、次世代育成行動支援計画	
担当課・担当課長 (Tel)	地域保健課	加藤智康 (433-2261)
関連課		

「3つの磨き」との関連性

「市民力を磨く」		「基盤力を磨く」		「観光力を磨く」		該当せず
コミュニティーの充実		メリハリある都市づくりの充実		史跡和歌山城の充実		
市民の健康環境の充実	○	道路・公共交通網の充実		海を生かした観光シフトの充実		
総合的な子育て環境の充実	○	総合防災体制の充実		美味しい和歌山市イメージの充実		
その他		その他		その他		

1 事業概要及び実施内容

事業目的（「誰・何」をどういう状態にする）ための事業か	事業内容				
乳幼児を持つ保育者及び妊婦とそのパートナーの育児不安を軽減し、前向きに育児ができることを目指す。地域の横のつながりを強めることで、市民全体の育児向上を図る。	(赤ちゃん広場) 生後2～5か月頃の児とその保育者を対象に、保健師・栄養士の保健指導、グループワークや妊婦との交流を実施する。 (0歳児交流会) 0歳児とその保育者を対象に、保育士の育児指導や保健師・栄養士・歯科衛生士の保健指導をおこなう。 (多胎児交流会) 多胎児とその保育者及び多胎妊婦を対象に、交流会や講師による講話を実施する。 (父親応援教室) 父親の積極的な育児参加を促すために実施する。 ・妊婦とそのパートナーを対象に妊婦体験や沐浴体験、保健師や栄養士の相談など。 ・乳児とその保育者を対象に、子どもとの遊び方の紹介や講師による講話など。 (読み聞かせ) 10か月児健康診査等の受診者と保育者を対象に読み聞かせを実施する。				
実施内容	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
	育児支援事業の実施 (赤ちゃん広場、0歳児交流会、多胎児交流会、地区民生児童委員主催の交流会、地域子育て支援センター主催の交流会、つどいの広場主催の交流会) 地域の育児環境整備の実施 (主任児童委員交流会、子育てサポート教室)	育児支援事業の実施 (赤ちゃん広場、0歳児交流会、多胎児交流会、地区民生児童委員主催の交流会、父親応援教室、地域子育て支援センター主催の交流会、つどいの広場主催の交流会) 地域の育児環境整備の実施 (主任児童委員交流会、子育てサポート教室)	育児支援事業の実施 (赤ちゃん広場、0歳児交流会、多胎児交流会、地区民生児童委員主催の交流会、父親応援教室、地域子育て支援センター主催の交流会、つどいの広場主催の交流会) 地域の育児環境整備の実施 (主任児童委員交流会)	地域の育児環境整備の実施 (主任児童委員交流会)	

2 事業コスト

	平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度	
	予算	決算	予算	決算	予算	決算	計画	決算	計画	決算
事業費	343	343	241	2,678	1,397	1,346	837			
伸び率 (%)	-	-	-29.7%		479.7%		-40.1%		-100.0%	
人件費	常勤職員	7,354	8,017	7,354	7,661	7,661	8,318	7,661		
	非常勤職員	0	0	0	0	0	594	0		
	小計	7,354	8,017	7,354	7,661	7,661	8,912	7,661		
国庫支出金										
県支出金				2,443	1,101	1,101				
市債										
その他										
一般財源(税等)	343	343	241	235	1,397	230	837			
所要人数	常勤職員	0.96	1.05	0.96	1.01	1.01	1.1	1.01		
	非常勤職員	0	0	0	0	0	0.24	0		

3 目標及び実績

指標名及び達成状況						平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
活動指標	開催回数 〔育児支援事業(主催型・要請型)、地域の育児環境整備の実施〕	年度目標値				100	100	200	200	200	
		実績値				110	118	142			
	単位	回	全体目標値		200	全体目標達成度		71.0%	110.0%	118.0%	71.0%
			年度別達成度								
成果指標	参加者の満足度〔育児支援事業(主催型)〕	年度目標値				95	95	95	95	95	
		実績値				94.5	95.3	92.4			
	単位	%	全体目標値		95	全体目標達成度		97.3%	99.5%	100.3%	97.3%
			年度別達成度								
安心して育児ができている人の割合	年度目標値	年度目標値				69	71	73	75	75	
		実績値				66	60.52	65.8			
	単位	%	全体目標値		75	全体目標達成度		90.1%	95.7%	85.2%	90.1%
			年度別達成度								

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 事業の方向性

方向性	A 計画どおり事業を進めることが妥当	B 1 事業の充実に向けた見直し	担当課評価 (所属長記載) A
	B 見直しのうえで継続	B 2 コスト削減・成果上昇	
	C 終了	B 3 類似事業との統合	
	D 休止	B 4 外部委託導入・拡大	
	E 廃止	B 5 受益者負担の適正化	
		B 6 終期設定	
		B 7 その他効率化	

担当課評価の根拠	事業の開催回数と「安心して育児ができる人の割合」は前年度と比較すると増加しているが、参加者の満足度は減少している。子育ての現状が複雑多様化している中、保育者の育児不安や子育ての孤立化を防ぎ、増加しているニーズにも対応できるよう本事業の充実を図っていく必要がある。また、地域子育て支援センター、地区民生児童委員や主任児童委員と協働して地域の育児環境整備に取り組んでいく必要がある。
「見直し」 「改善」案 ※上記、担当課評価が「B」評価の場合のみ	